

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	心豊かで文化を育む人づくりのまち（教育・文化・スポーツ）
施策の柱	学校教育

目指す姿

- 子ども一人ひとりに応じた教育を受けることができ、自立し社会参加するための基盤となる力が育まれています。
- 子どもたちが「歴史・文化遺産」や「地域の教育力」など、本物との出会いや人との出会いを通じて、多様な見方や考え方が育まれています。また、学校や郷土への愛着や誇りが醸成されています。
- 子どもたちが元気で健やかに成長し、将来にわたって健康を維持する基礎が育まれています。
- 子どもたちが安全で快適に学習に取り組むことができる教育環境があります。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
(主) 将来の夢や目標があると答える児童生徒の割合	70.9%	69.2%					UP	学校教育課
(主) 授業を良く理解できていると感じる児童生徒の割合	82.9%	84.4%					UP	学校教育課
(客) 優秀児童生徒表彰者数	477人	487人					2000人	学校教育課
(客) 全国統一基準の体力テストにおいて高評価を得た児童生徒の割合	小学生 28.3% 中学生 40.4%	小学生 34.6% 中学生 39.6%					小学生 37.6% 中学生 45.8%	学校教育課

●施策の方向性①学校教育の充実

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
21101	学校経営振興事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○学校や地域、児童生徒の実態に応じた自主・自立的な学校経営を推進することにより、子どもたちへの確かな学力の定着や豊かな人間性を育む教育に寄与している。</p> <p>○自主・自立的な学校経営を推進するうえで、大変有効な事業であるが、各学校の取り組みの更なる質の向上を図っていく必要がある。</p> <p>○各学校の取り組みの成果を冊子にまとめ学校間で共有することで、事業の質の向上や水平展開につなげていく。また、各学校に設置される学校評議員会等を通して、保護者や地域の方に理解を図り、意見等をもらうことで、事業の透明性の確保、質の改善につなげていく。</p>	教育総務課
21102	学校ICT化推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○黒板と教科書を使った従来の授業の中に、効果的にICT機器を組み込んでいくことで、より「分かりやすい授業、学びやすい環境」づくりに寄与している。</p> <p>○ICT機器は、子どもたちの学習効果を高めるための補助的なツールであるため、授業等で効果的に機器を取り入れながら指導力の一層の向上を図っていく必要がある。</p> <p>○教科別の研修機会等を充実していくとともに、機器を取り入れた授業の実践経験を蓄積していくことで、効果的な指導法を教員間、学校間で共有していく。</p>	教育総務課
21103	教職員パワーアップ事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○平成27年度は26名が入塾し、1年間を通して研修を行った。平均10～12回の授業研修を、教職員特別指導講師による1対1の指導・助言のもと行い、25名が卒塾した。教科以外に、道徳や生徒指導、学級経営といった、より幅広い分野で研修を行うことができた。</p> <p>○当事業も10年を越え、卒塾した中堅教員も多くなってきたこと、若手教員が多くなってきたことから、参加対象を広げ、より多くの教職員の指導力向上を図る必要がある。</p> <p>○参加対象を、若手教員や講師にも広げ、10～12回の授業研修だけでなく、短期間の授業研修コースも設け、一人一人のニーズに合った研修にしていく。また、教職員指導講師が塾生の授業指導に関わる評価シートを作成し、定期的な評価を行うことで、助言をしたり、講師同士の打ち合わせで情報交流を図ることで、より実りのある研修にする。当事業を通して、自信をもって教科指導や学級経営を行い、児童生徒に力を付けることができる教員の育成を図る。</p>	学校教育課

21104	英語教育推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○KETとJTE（日本の英語の先生）によるチームティーチングによって、目の前の児童生徒にモデルとなる会話を示すことで、英語を使ってコミュニケーション活動をする事への意欲を高めることができている。また、KETの出身国の文化や習慣について紹介してもらうことにより、異文化に触れることができている。</p> <p>○多くの現場で積極的にKETの活用が図られている一方、KETを授業の中でどのように活用すれば効果的なのかを十分に理解できていない教員がいる。</p> <p>○KETの効果的な活用について、小中学校のうち、各1校でモデル授業を公開し、多くの先生に参観してもらうことで理解を深めていく。また、当事業の中で、KETとJTEの会話表現を児童生徒が実際に使い英語に慣れ親しむとともに、英語を使ってコミュニケーションを図ることに対して夢や希望がもてる授業の充実を図る。</p>	学校教育課
21105	外国籍児童生徒支援事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○日本に来たばかりの外国籍児童が初歩的・基礎的な日本語を学び、日本での学校生活について指導員から丁寧に教えてもらっている。外国籍児童の日本語理解度によって3ヶ月～6ヶ月の指導・支援を行い、在籍校で適応できるよう送り出すことができている。</p> <p>○近年、外国人児童生徒が在籍している地区が広域になってきており、Futuro教室への送迎ができない保護者が増え、日本語の初期指導が必要にも関わらず、在籍校へ通わざるを得ない児童生徒がいる。そのような児童生徒は、巡回指導員によって、指導・援助をすることになるが、日本語初期指導が必要な外国人児童生徒が増えていることで、十分な指導援助ができていない。</p> <p>○Futuro教室の指導員は2名いるが、Futuro教室の児童生徒が1名以下の場合、指導員のどちらか1名はFuturo教室に通えない日本語初期指導が必要な児童生徒の在籍校で指導・援助ができる柔軟な対応を行っていきたい。</p>	学校教育課
21106	特別支援教育指導推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○特別支援教育アシスタントの配当時間増により、発達障がいのある児童生徒に個別の対応をする時間を多く確保できるようになった。また、巡回相談や、かかみがはらサマースクールの実施により、教職員が障がいのある児童生徒への対応について研修を重ね、保護者や医療機関と連携を図りながら対応できるようになってきている。</p> <p>○学校の実態により、学習支援人づくり講師、特別支援人づくり講師、特別支援教育アシスタントを適切に配置し、質の向上を図る必要がある。また、通常学級において、発達障がいのある児童生徒の割合が増加傾向にあることから、学校の全職員が発達障がいについての理解や対応の仕方を身に付けることが必要である。</p> <p>○学習支援人づくり講師、特別支援人づくり講師、特別支援教育アシスタントの支援時間の確保と質的向上を図るための研修を実施するとともに、巡回相談、かかみがはらサマースクールにおける発達障がいに対する理解や対応の仕方についての研修を市内全学校に広めていく。</p>	学校教育課

21107	スポーツ推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○運動神経の向上を図ることができるコーディネーショントレーニングの重要性の認知が保育園、幼稚園でも進み、小学校の訪問指導だけでなく、保育園、幼稚園の訪問指導も増加している。</p> <p>○重要性の認知度が高まったが、平成27年度をもってコーディネーショントレーニングの専門員が退職し、予算を組まずに取り組んでいく事業となった。</p> <p>○これまで蓄積したノウハウを活かし、各学校で実施できるコーディネーショントレーニングに体育の時間等を活用して継続して取り組み、児童生徒がスポーツに親しむと共に、スポーツ界で活躍する等の夢や希望がもてる授業の充実を図る。</p>	学校教育課
21108	不登校・不適応対策事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○平成28年度7月末の段階で通室希望児童生徒は9名おり、本人の状況に合わせて、適応指導教室を利用している。個々の実態を把握し、学校や家庭、外部機関等と協力しながら、支援にあたっている。</p> <p>○通室を希望したが通室できない児童生徒や、どこにも通えずひきこもりの状態になっている児童生徒への支援を考えていくことが課題である。</p> <p>○保護者会、通室希望児童生徒・保護者との面談、家庭訪問、臨床心理士による相談活動等、細やかな支援を行うことで課題解決を図る。</p>	学校教育課

●施策の方向性②地域資源の活用

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
21201	各務野立志塾事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○各務原商工会議所や大学の学長、市長など、産・学・官のトップリーダーの講義や対話などを通して、リーダーのやりがいや楽しさなどを学ぶことで、学校へ戻ってからの意欲の喚起につなげることができている。</p> <p>○しかしながら、立志塾を通して、参加生徒の意識や行動が変化していく様子など、現場の先生に見ていただくことができていない。</p> <p>○今年度の立志塾では、現場の先生に、活動を見てもらい、事業の良さや生徒の様子などを見てもらうことができるように改善を行う。また、立志塾に参加した生徒が学校に戻り、学校のリーダーとしてより活躍することを価値付け、生徒の自主性を喚起し、夢や目標をもつ生徒の育成に資する。</p>	学校教育課

21202	地域人材活用事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○平成26年度より各務原寺子屋事業の一環として、「基礎的な学力をしっかりと身につけてほしい」という目標のもと、教員OBや大学生などの地域講師にご協力いただきながら、学力の差が出やすい小学3年生を対象に、学校の特別教室や地域の公民館で「放課後学習室」を開催している。また、「放課後学習室」及び自主学習に使用できるテキスト「基礎基本定着問題集」を教育委員会が独自で作成し、小学3年生と中学生に配布し、児童生徒の基礎学力の向上を図っている。</p> <p>○「放課後学習室」へ参加する児童が増加しており、参加児童の数に応じた地域講師の確保が課題である。</p> <p>○地域講師の確保に関しては、現在学校が行っている地域活動での人脈や繋がりを活かし、人材確保に努めていく。また、今年度より各務原寺子屋事業を再編し、「かみがはら寺子屋事業2.0」へバージョンアップさせたことに伴い、「放課後学習室」の対象を中学生にも拡大し、市内2箇所を開室している。また、「基礎基本定着問題集」の対象も小学4年生まで拡充し、今後も対象を増やしていく。将来、夢や目標を子ども達に持ってもらえるよう、引き続き幅広い学習支援を行っていく。</p>	学校教育課
-------	----------	-----------------	---	-------

●施策の方向性③学校保健の充実と食育の推進

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
21301	学校保健推進事業	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○各種健康診断等により、児童生徒の疾病の予防と早期発見に努めた。脂質検査結果によると肥満度の高い児童・生徒の割合は横ばい状態であり、小児生活習慣病予防対策の一環で「夏休み健康教室」を開催し、保護者にも適度の運動と正しい食生活について指導した。</p> <p>○保護者の同意が得られず、必要な検査が行えないケースもある。また、「夏休み健康教室」のように主に肥満児を対象とする事業は、PRや勧誘に配慮する必要がある。</p> <p>○将来、成人病にならないよう早急な改善が必要であることを保護者に理解してもらうため、授業参観や「保健だより」等で一層の周知に努める。また、肥満児に対しては、肥満度が経年比較できるような「個人カード」を常備する。</p>	学校教育課
21302	食育推進事業	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○学校給食等実態調査で朝食の摂取状況を把握し、朝食や生活リズムの大切さについて、養護教諭が個別指導している。また、給食試食会を通し、保護者への啓発も行っている。</p> <p>○就寝時刻の遅延化や家族と一緒に食事する習慣が薄らいでいる。また、朝食を抜くことが習慣になっている保護者もいる。</p> <p>○保護者の認識が何よりも重要であり、朝食の欠食が、肥満や脂質異常等の生活習慣病につながることを理解してもらえるよう、各種会合の機に話題に取り上げていく。</p>	学校教育課

●施策の方向性④学校施設・設備の充実

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
21401	学校施設設備修繕・維持管理事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○学校施設の老朽化が進んでいる。</p> <p>○維持修繕・整備が必要な設備が多数見受けられるため、限られた予算の中で、安全性・緊急性を鑑み、優先順位を考慮しながら、児童・生徒の安全及び学習環境の確保に努める。</p>	教育総務課
21402	小中学校冷暖房設備整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○子どもの学習環境の向上を図るため、小中学校の冷暖房設備の設置を実施している。小学校については、すべて冷暖房設備を設置し、児童が快適に学習に取り組むことができる環境を整備することができた。</p> <p>○中学校については、未実施であるため、引き続き学習環境の向上を図る必要がある。</p> <p>○平成28年度中に、全中学校に冷暖房設備を設置し、子どもの学習環境の向上を図る。</p>	教育総務課
21403	学校施設非構造部材耐震化事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○学校施設の体育館・武道場の天井等落下防止工事が完了したことで、施設内の安全を確保することができた。また、災害時における避難所としての機能も確かなものとなった。今年度からは小中学校の校舎外壁改修を実施しており、より安全な施設を目指している。</p> <p>○文部科学省の目指す体育館等の大規模空間の天井等落下防止改修が完了したため、現状は課題はなし。</p>	教育総務課
21404	学校施設給水設備改修等整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○平成27年度に稲羽西小学校の給水管更新工事を実施し、老朽化した給排水管の更新により、給水の安全を確保した。</p> <p>○設備の老朽化に伴い、給排水管（給食調理場含む）が未改修の学校がある。</p> <p>○安全性・緊急性を鑑み、優先順位を考慮しながら、計画的に改修を行っていく。</p>	教育総務課
21405	学校施設運動場改修等整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○小中学校屋内運動場を利用する児童・生徒及びその父兄・保護者、若しくは社会体育利用者より、トイレ環境改善、玄関出入口スロープ設置等のバリアフリー化が求められている。平成27年度には、3校の屋内運動場のトイレ環境を整備することで、児童や社会体育の利用者が快適で安心して使用できるようになった。</p> <p>○施設の老朽化に伴い、屋内運動場が未改修の学校がある。</p> <p>○安全性・緊急性を鑑み、優先順位を考慮しながら、引き続き改修を計画していく。</p>	教育総務課

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	心豊かで文化を育む人づくりのまち（教育・文化・スポーツ）
施策の柱	青少年教育

目指す姿

- 青少年が地域全体で温かく見守られ、健やかに成長しています。
- 家族の絆や地域の交流が深まり、子どもたちの社会性が育まれています。
- 心豊かでたくましい青少年を育成するため、様々な自然体験や社会体験ができる環境が整っています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）地域ぐるみで、青少年の健全育成が行われていると感じる市民の割合	39.5%	-	39.3%	-		-	UP	青少年教育課
（主）地域の活動やボランティア活動に参加する青少年が多くなったと感じる市民の割合	13.0%	-	11.6%	-		-	UP	青少年教育課
（客）ふれコミ隊加入者率	6.5%	8.1%					7.8%	青少年教育課

●施策の方向性①地域教育力の向上

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
22101	地域教育力向上事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○青少年が地域全体で温かく見守られながら、健やかに成長するため、青少年育成市民会議を中心に、地域でふれあい行事を推進している。また、放課後子ども教室では地域のボランティアのご協力により、開催している昔遊びや軽スポーツなどの遊びを通し、子ども達の楽しい貴重な体験活動につながっている。</p> <p>○中学生を中心とした「ふれコミ隊」の参加人数は増加傾向にあり、内容も充実してきている。地域の活動やボランティア活動に参加する青少年が多くなったと市民が感じるためには、地域の大人の参加をさらに促していく必要がある。「ふれコミ隊活動」では、ボランティア活動を通じ、地域との「ふれあい」を深めていくことであり、継続的に行っていくことが重要であると考えている。しかし、校区によって「ふれコミ隊活動」の内容に差が見られる場合もある。</p> <p>○青少年の健全育成を地域ぐるみで推進するために、年度当初に開催される青少年育成市民会議の総会や各校区推進委員会において、より多くの世代が参加するふれあい活動や「ふれコミ隊活動」への理解や周知等を促していき、より地域と「ふれあい」が持てる活動としたい。</p>	青少年教育課

●施策の方向性②情報モラルの向上

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
22201	情報モラル向上事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○PTA活動等と連携を図り、近年、課題視されている情報モラルの向上に関する講演会を専門家を招き開催している。</p> <p>○一部の保護者からは家庭のルールも市でつくってほしいなどの要望があり、家庭の教育力の向上についても課題となっている。</p> <p>○「情報モラルの向上」のためには、「親子の会話」や「家庭の約束づくり」が重要であることについて、PTA活動・子育て広場などを通して理解を深めていく。</p>	青少年教育課

●施策の方向性③家庭教育の充実

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
22301	家庭教育充実事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○平成27年度より幼稚園・保育所に臨床心理士等を派遣し、幼児期から児童期への変化とその対応についての理解を深めるため、「お子さんの成長に合わせて、親子で育みたいこと」の講演会を実施した。</p> <p>○就労している保護者も多いので、参加者（父親・母親）を増やす工夫が課題である。</p> <p>○休日や学校行事等に合わせた開催や、保護者が参加したくなる内容を企画するなどの支援を引き続き実施していく。また、父親の育児参加も重要であることから、父親が参加しやすい日程、父親の育児を応援する内容の子育て広場を支援する。体験だけで終わらないよう、活動後に交流会の時間を設けることで、保護者同士のつながりができるよう支援する。</p>	青少年教育課

●施策の方向性④体験学習の充実

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
22401	少年自然の家改修等整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○少年自然の家は、青少年の健全育成を目的とした体験学習施設である。利用者が安心して活動に取り組んでもらうため、所員全員で定期的に施設設備の点検をしている。また、建物の不具合箇所を確認した場合、早急に対応し修繕・工事を行っている。</p> <p>○現在は、早急に修繕する必要はないと考えられる設備でも、経年劣化のため、将来的に更新をしなければならない設備が多く存在する。</p> <p>○更新が必要な設備は、長寿命化計画に基づき施設整備を進めていくとともに、家庭や学校では得がたい社会体験ができる施設として、環境整備に努めていく。</p>	少年自然の家
22402	体験学習推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○団体受入れ事業では、参加者の満足度は高く、適切な支援ができています。主催事業では、27年度から新たに冬季の野外宿泊事業を実施し、貴重な体験の機会を提供することができた。</p> <p>○平成28年度から、市内小中学校の利用形態が変わり、利用時期が4月～11月に集中している。</p> <p>○12月～3月の閑散期に、小学校を対象とした出前講座を考えていく。また、子ども会の勧誘活動を行う際には、冬季限定の活動を紹介するなど、閑散期の利用も勧めていく。「伊木山トレッキング」「クラフト体験」「星空観察入門」の新たな自然体験の主催事業を実施していくとともに、生涯学習サークルへの施設貸出しなどの利用も積極的に勧めていく。</p>	少年自然の家

22403	青少年体験教育事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○海外でのホームステイや学習体験など、異文化に接する社会体験の機会を設けることにより、グローバルな視点で世界を眺めることや、ふるさとの良さを再発見するなど、多様な見方や考え方を育むことができている。海外派遣事後報告会・英語スピーチコンテストでの報告、各中学校での報告会により、個人の思い出にとどまることなく広く共有しながらキャリアデザイン教育の一つとなるとともに、心豊かでたくましい青少年の育成に大きく貢献する事業であると言える。</p> <p>○平成27年度にエバレットコミュニティカレッジとの連携協定を締結したことを受け、平成28年度よりカリフォルニア州セリトス市との交流に加え、ワシントン州のエバレット市も訪問する。訪問先が増えることにより、さらに充実した体験活動となるように内容を精査・調査する必要がある。</p> <p>○新たな交流先となった、エバレットコミュニティカレッジとの調整を密にし、心豊かでたくましい青少年を育成するとともに、海外での航空機産業の体験学習などを通じ、各務原市の産業を身近に感じるとともに働くことへの夢や憧れを持てるような取り組みにする。</p>	青少年教育課
-------	-----------	-----------------	---	--------

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	心豊かで文化を育む人づくりのまち（教育・文化・スポーツ）
施策の柱	学びの機会

目指す姿

- 幅広い学びの機会が提供され、市民が心豊かな生活を送るとともに、学んだ成果が地域や社会で発揮されています。
- 市民が身近な場所で学習できる機会や施設があります。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）生涯学習講座等の内容に満足した参加者の割合	69.7%	69.0%					UP	いきいき楽習課
（主）身近に学びの機会があると感じる市民の割合	43.7%	-	48.2%	-		-	UP	いきいき楽習課
（客）生涯学習講座参加者数（年間）	7669人	8020人					8000人	いきいき楽習課
（客）クラブ・サークル等の地域活動件数（年間）	-	325件					300件	いきいき楽習課

●施策の方向性①生涯学習の充実

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
23101	生涯学習推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○各ライフデザインセンターで様々な生涯学習講座を展開しており、平成27年度受講者数は前年に比べ増加している。また、クラブサークルでの活動の成果を地域に還元する取組を促進するため、クラブサークル発表会のほか、クラブサークル団体が講師となって子どもたちと講座を楽しむ「夏休み子ども講座」への参加を呼びかけるなど、学びを活かす取組を行い、多くの団体が参加した。</p> <p>○参加者の満足度向上のため、ニーズの把握など講座のブラッシュアップに努め、平成28年度においては講座数全体の約1/4を新規講座として開催する。また、地域活動を行っているクラブサークルは全体の約半数であり、活動事例を紹介するなどイメージが湧かない団体への更なる働きかけが必要である。</p> <p>○地域活動アンケートの結果を活用し、各ライフデザインセンターや関係課との連携の上、個々の団体に活動事例を紹介していく。</p>	いきいき楽習課

●施策の方向性②社会教育環境の整備

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
23201	文化会館施設整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○中央ライフデザインセンターのリフレッシュ工事については、設計、工期計画に基づき工事を進め、予定通り9月1日にオープンする事ができた。特に工事期間中は、来館者の安全はもちろん、併設している市民会館の催事に、工事音や振動の影響が出ないように配慮した。</p> <p>○今後、実施を予定している文化ホールの音響設備や市民会館の空調設備の更新については、利用者に配慮し、休館することなく施工を行うため、指定管理者や設計委託業者と調整を行う必要がある。</p> <p>○施工方法や期間など、具体的な工事計画を立て、各関係機関と調整しながら実施していく。</p>	いきいき楽習課

●施策の方向性③図書館サービスの充実

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
23301	図書館改修等整備事業	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○図書館を安全、安心して利用していただくため、公共施設長寿命化計画に基づき、施設整備を行っている。平成27年度までは順調に進捗していたが、平成29年度以降に予定していた工事について、施工方法等に不具合が生じている。</p> <p>○公共施設長寿命化計画において、今後5年以内に施工を予定している空調設備更新工事では、現在の計画では閉館期間が半年程度必要となり、利用者への配慮等が必要となる。また、その他工事でも、実施の規模や更新の緊急性等について再度検討する必要がある。</p> <p>○空調設備更新工事については、利用者に配慮するため、閉館期間を最小限に抑える方法を検討し、その他工事についても、施工方法、概算事業費等を確定させた上で、各種計画に反映させていく。</p>	中央図書館
23302	本に親しむ事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○子どもから大人まであらゆる世代の市民が本を身近に親しむことができるよう、ビブリオバトルやマーケット日和と連動し、古本市や読み聞かせ会を開催している。平成27年度は、ビブリオバトルは参加者が少なかったが、マーケット日和は盛況に開催することができ、本の貸出冊数・貸出者数ともに昨年度に比べて増加している。</p> <p>○子どもたちに、もっと本に親しんでもらうために開催しているビブリオバトルは、知名度がまだ低いこともあり、参加者数（発表者、観覧者）が少ない状況である。</p> <p>○ビブリオバトルの名称を、「私の1冊！気軽にトーク」に変更し、児童生徒がもっと気軽に参加できるように配慮を行い、小中学校に対して昨年度以上に力を入れて呼びかけを行っていく。また、図書館で開催する講座教室等でも積極的に参加を勧める。</p>	中央図書館

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	心豊かで文化を育む人づくりのまち（教育・文化・スポーツ）
施策の柱	芸術・文化・歴史

目指す姿

- 市民が芸術・文化を気軽に親しむことができる機会や、活動の成果を表現する場が充実しています。また、市民が地域の芸術・文化に誇りを感じています。
- 市の歴史・文化遺産が適切に継承され、人づくりや地域づくりなどに活かされています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
(主) 芸術や文化に親しむ機会が充実していると感じる市民の割合	37.3%	-	35.4%	-		-	UP	いきいき楽習課
(客) 芸術・文化活動への参加団体数	-	7団体					5団体	いきいき楽習課
(客) 歴史セミナー等受講者数（年間）	55人	86人					150人	文化財課

●施策の方向性①芸術・文化活動の充実

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
24101	芸術・文化活動充実事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○市民意識調査の中で、芸術文化に親しむ機会が充実していると感じる市民は35%、充実していないという市民は17%となっている。また、市が力を入れるべき取り組みについては「子どもの鑑賞、体験の推進」が45%、「市民への情報提供」が40%などとなっている。</p> <p>○引き続き、事業の充実とともに、効果的な情報提供に努めていく必要がある。</p> <p>○情報提供の手段としては、市広報紙や市ウェブサイトへの掲載、公共施設へのチラシ配布に加え、市情報メールやフリーペーパーなどを活用していく。行政が活動運営に支援を行っている団体や事業について、自主的に運営できるよう引き続き働きかけていく。</p>	いきいき楽習課

●施策の方向性②歴史・文化遺産の保護と利活用

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
24201	遺跡発掘調査事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○市の歴史・文化遺産が適切に継承されることを目標に、鶯沼古市場遺跡では、開発に対する記録保存を行っている。また、坊の塚古墳では、史跡整備に向けた5年計画の調査を実施している。</p> <p>○鶯沼古市場遺跡は、建築物が残る3箇所について調査が未実施である。坊の塚古墳は、正確な断面構造や埋葬施設の現状を今後の調査で把握する必要がある。</p> <p>○市の貴重な文化遺産を未来へ継承するため、鶯沼古市場遺跡については、残余の調査区において、さらに遺跡の年代や性格などの解明に努める。坊の塚古墳では、その性格等の解明のための調査を継続していく。</p>	文化財課
24202	歴史遺産保護管理事業	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○炉畑遺跡公園を快適・安全に見学できるよう、復元住居の補修や樹木の伐採・剪定等により環境が保全されている。</p> <p>○炉畑遺跡公園では1号住居の整備を以って事業完了となるが、天狗谷遺跡については未着手の状態である。</p> <p>○文化財見学施設として安全性に配慮するため、公共施設長寿命化計画に基づき、改修整備を行っていく。</p>	文化財課

24203	歴史遺産活用事業	目標値に対し、順調に進んでいる	○体験講座など文化財課ならではの教材・手法を活かし、子どもたちの視線を郷土の歴史文化へ引き付けることができている。郷土愛の醸成に繋がっている。 ○市内の歴史文化遺産の見学や体験学習に参加した小中学生からの評価は概ね高かったが、より多くの小中学生に参加してもらえよう講座の周知が今後の課題である。 ○現在、発掘を行っている坊の塚古墳を見学ツアーに取り入れるなど、より興味を引くような講座を企画するとともに、学校教育課等との連携などPR活動を促進し、より多くの小中学生への周知を図っていく。	文化財課
-------	----------	-----------------	---	------

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	心豊かで文化を育む人づくりのまち（教育・文化・スポーツ）
施策の柱	スポーツ

目指す姿

- 生涯スポーツ普及のための機会が充実し、市民が日常的にスポーツに親しんでいます。
- 地域のスポーツ団体やボランティア等に支えられ、健康的で活力ある地域がつくられています。
- 市民の多様なニーズに応じたスポーツ施設が身近に整備されています。
- 「ホッケー王国かかみがはら」として知名度が高まっています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）身近にスポーツに親しむ機会や環境があると感じる市民の割合	50.4%	-	50.6%	-		-	UP	スポーツ課
（主）日常的に運動を行っている市民の割合	43.7%	-	45.1%	-		-	UP	スポーツ課
（客）各種スポーツスクール参加者数（年間）	251人	334人					430人	スポーツ課
（客）軽スポーツ大会参加者数（年間）	281人	337人					380人	スポーツ課

●施策の方向性①スポーツ機会の創出

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
25101	生涯スポーツ推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○日常的に運動を行っている市民は、70歳代以上で「している」と答えている割合が多くなっている。様々な年齢層からスポーツに関する多種多様なニーズが生まれてきている中、気軽に参加できるスポーツイベントは好評を得ている。イベント等で実施したアンケートでは「健康づくりが中心の講座」や「中高年のスポーツ」と答えた割合が多く、誰もが参加できる生涯スポーツに関するニーズが高い。また、世界を舞台とした日本人選手の活躍の影響を受けて、新しくスポーツに取り組む人も増加している。</p> <p>○スポーツスクールにおいて、定員上限に達する教室がある一方、定員割れの教室もみられる。</p> <p>○気軽に参加できるイベントやスクールの開催、全国・国際レベルの大会の誘致・開催を通して、市民がスポーツを始める機会の創出や生涯スポーツに親しむ機会の充実を図るとともに、ライフステージなどに配慮した多くのスポーツ機会を創出するため、よりわかりやすい情報提供ができるよう努めていく。スクールでは、開催時期や種目、定員などの内容を工夫し、スポーツに関する情報発信の充実を図る。また、参加者アンケート等を分析し、より参加者に喜んでもらえるイベント内容となるよう工夫していく。</p>	スポーツ課

●施策の方向性②地域スポーツ活動への支援

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
25201	地域スポーツ活動支援事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○各団体において、多くの事業が開催されている。各務原市体育協会においては新規加盟団体があり、協会の発展と市内のスポーツ振興の充実に繋がった。但し、指導者の高齢化や人材不足が見受けられる。</p> <p>○協会や種目の枠を越えた活動の連携ができるよう、支援方法の検討が必要である。また、指導者の高齢化や人材不足を解消していく必要がある。</p> <p>○市内のスポーツ活動が一層活性化できるよう各スポーツ団体間の連携を深める必要があり、協会や種目の枠を越えた活動の連携ができる新たなスポーツイベントの企画を検討したい。また、指導者講習会を継続して開催することにより、資質向上と次世代指導者の育成を行い、指導者の高齢化や人材不足といった課題を解消したい。</p>	スポーツ課

●施策の方向性③スポーツ施設の充実

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
25301	スポーツ施設の充実	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○各種計画に基づいて、整備、改修及びスポーツ備品の更新を行っている。平成27年度には、総合運動公園をはじめ、市民プールやスポーツ広場、那加地区体育館の改修など施設の機能維持及び延命化の整備を行っている。</p> <p>○スポーツ施設そのものの整備に加え、更衣室やトイレの環境など、周辺施設についても、適切な整備が求められている。</p> <p>○市民の多様なニーズや、各スポーツ関係団体との意見や助言に応じたスポーツ施設の整備を行い、引き続き安全かつ快適にスポーツを行うことができる環境づくりに努める。</p>	スポーツ課

●施策の方向性④ホッケーの推進

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
25401	ホッケー推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○ホッケー講習会受講者が、スポーツ少年団から部活動（中学校、高校）に繋がっていない現状がある。一方、体育協会の協力を得て、社会人指導者を派遣し、中学校部活動での競技技術指導の機会が創出できた。</p> <p>○ホッケーの競技人口の拡大を図ることにより、競技レベルの向上に繋げ、機運を高める必要がある。</p> <p>○「ホッケー王国かかみがはら」として、ホッケーがその他の競技スポーツの牽引となるよう、世界と戦えるトップレベルの選手の応援や岐阜県グリーンスタジアムで行われる全国・国際大会のPRにより、競技人口の拡大を目指すとともに、競技レベルの向上に繋がる支援（オリンピックによる講演会など）に取り組んでいく。</p>	スポーツ課

●施策の方向性⑤スポーツ推進計画の策定

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
25501	スポーツ推進計画策定事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○本市のスポーツ行政に関する現状と課題を整理し、平成28年度から平成36年度までの9年間の計画期間とした「各務原市スポーツ推進計画」を策定した。</p> <p>○今後は目標数値に関する進捗管理を行いながら、庁内関係部局及び各スポーツ関係団体と連携し、意見や助言などを参考にしたPDCAサイクルに基づく事業の改善を行うことで、よりよいスポーツ行政を目指していく。</p>	スポーツ課